

《担当者名》 鎌田樹寛 池田千紗

## 【概要】

本講義は、DP4に該当する科目である。具体的には、職業リハビリテーションの国際的背景、我が国の職業リハビリテーション施策の特徴、キャリア発達の理論、就労支援の現状と実際について学修する。加えて、就業援助に関わる作業療法(士)の役割について理解する。

## 【学修目標】

### 一般目標

職業リハビリテーションの国際的背景や理念を踏まえ、わが国の施策の特徴や課題、キャリア発達の理論を理解することや、就労支援の実際(障害特性ごと)に対する作業療法や作業療法士の役割について、理解することを目標とする。

### 行動目標

1. 職業リハビリテーションに関する国際的な理念・歴史を説明できる。
2. 日本の職業リハビリテーション施策の特徴を説明できる。
3. キャリア発達の理論を説明できる。
4. 日本の就労支援の課題が説明できる。
5. 職業リハビリテーションにおいて、作業療法士の役割を説明できる。
6. 障害特性から見た就労支援の特徴を説明できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	就労支援の知識(1)	1. 職業リハビリテーションの国際的な理念・歴史や動向を学ぶ。 2. 日本の職業リハビリテーション施策の特徴を学ぶ。	鎌田樹寛
2	就労支援の知識(2)	キャリア発達の理論について学ぶ。	鎌田樹寛
3	就労支援の知識(3)	日本の就労支援の現状について学ぶ。	鎌田樹寛
4	職業リハビリテーションと作業療法	職業リハビリテーションでの作業療法士の役割について学ぶ。	鎌田樹寛
5	就労支援の実際(1)	障害特性(発達障害)から見た支援の実際について学ぶ。	池田千紗
6	就労支援の実際(2)	障害特性(精神障害)から見た支援の実際について学ぶ。	鎌田樹寛
7	就労支援の実際(3)	障害特性(身体障害・高次脳機能障害)から見た支援の実際について学ぶ。	池田千紗
8	就労支援の実際(4)	雇用促進法に基づく就労支援の実際について学ぶ。	池田千紗

## 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

レポート課題: 100%

## 【教科書】

特に指定しない(適宜資料を配布する)。

## 【参考書】

能登真一 編 他 「作業療法評価学第3版」 医学書院 2017年

松為信雄 菊池恵美子 編 「職業リハビリテーション学(改訂第2版)」 協同医書出版社 2006年

平賀昭信 岩瀬義昭 編 作業療法全書 「職業関連活動」 協同医書出版社 2009年

その他必要があれば、講義の中で紹介する。

**【学修の準備】**

上記参考書や地域作業療法の教科書で、「就労支援に関する章」を予め読んでおくこと(予習・復習各80分)。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

(DP4)リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。